

ポリオは「小児麻痺（まひ）」という呼び名のあるとおり、子どもたちの中で流行し、足などのまひをおこすことが多い感染症です。まひが重いと、呼吸をする筋肉までおかし、命とりになることもあります。

かつて日本でも大流行があり、こわがされていた病気なのですが、昭和30年代にワクチンの投与が開始され、劇的に患者さんが少なくなりました。しかし、東南アジアなどの開発途上国では、いまだ蔓延（まんえん）していて、その予防対策が国際的に急務になっています。

ポリオ・ワクチンは、飲む形の生ワクチンで、腸管の中で増殖したあと、免疫ができます。

1、2、3型の3種類があって、その混合したものをワクチンとして使っています。1回の投与では、まだ3種類全部に十分な免疫ができないので、6週間以上の間隔をあけて、2回目の投与を受けます。（6週間以上あいていれば、何か月、何年あいてもかまいません。）

最近、2回ではまだ不十分で、3回受ける必要があるともいわれています。ポリオの流行地へ出かけるときには、子どもも大人も、もう1回、投与を受けたほうがいいようです（任意接種）。

## ポリオ予防接種

予防接種法による定期接種：

- ・生後3か月～90か月（7歳半）未満  
標準は3か月～18か月未満
- ・6週間以上の間隔をおいて2回接種

## 予防接種を受けたとの注意

※予防接種の副作用として、ごくまれに、注射の直後に急に具合の悪くなることもあります（アナフィラキシー・ショック）。万一のために15分程度は医院の中にいていただき、その後もしばらくは医院にすぐひきかえせるようにしてください。（その場で適切な処置をすれば、最悪の事態はさけられます。）

ポリオ・ワクチンは、弱毒化してある経口生ワクチンです。  
ほかの予防接種は、4週間以上（※）たってから受けてください。

※接種の翌日から次の接種日の前日まで27日以上

## ポリオ・ワクチン

- ①ポリオ・ワクチンは飲むワクチンで、**下痢をしていると、受けられません**（効果のないときがあるため）。
- ②今日は激しい運動は避けてください。**入浴はかまいません**。
- ③副作用は、まずおきません。（投与のあと、4～30日の間にポリオと同じ症状でのたことが報告されていますが、発生頻度は低く、約50万～100万に1例といわれています。）
- ④投与を受けた直後に吐き出したときは、もう一度投与を受けてください。